

メールセキュリティ対策
情報漏えい対策ソリューション

どうしたら「**うっかり誤送信**」を防げるか？



WISE Attach
Attachment Safety System

ZIPエディション紹介資料

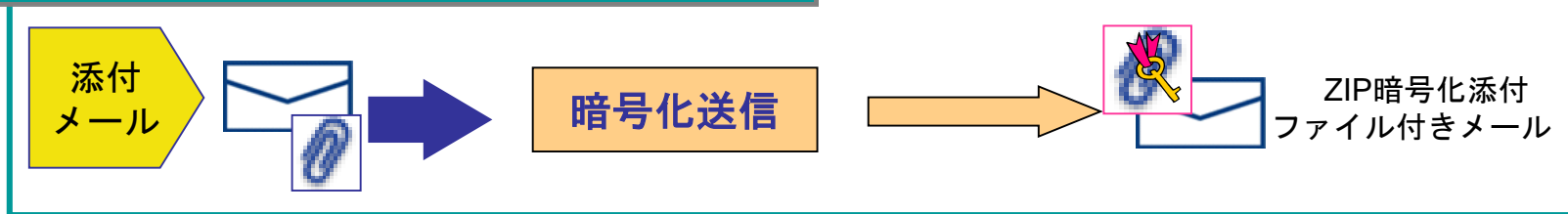
2016年6月17日

株式会社エアー

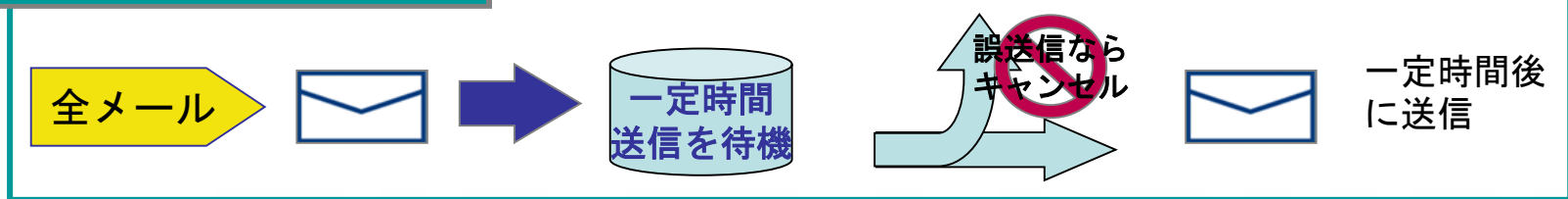
添付ファイルの「うっかり誤送信」を防止！ 「WISE Attach ZIPエディション」とは？

- WISE Attachは、添付ファイルからの情報漏えい対策と、本人がメール送信直後に気付くことの多い「うっかり誤送信」への対策を行える誤送信防止システムです。
- ZIPエディションでは、メール本文と添付ファイルについて「暗号化送信」により情報漏えい対策を行えます。
 - ◆ 暗号化ルールに従ってメール本文と添付ファイルをサーバで自動暗号化して送付。
 - ◆ 誤送信に気付いた場合、パスワード送付中止により送信者自身で対処可能。
- さらに、メール配信を一定時間待機できるので、誤送信に気付いた送信者本人が送信をキャンセルできます。

メール本文・添付ファイル 暗号化



メールの時間差配送



3段階による情報漏えい防止ソリューション

WISE Attachは、3段階でルール※を設定し、情報漏えいや誤送信の疑いをトリプルチェックができるソリューションです。

※ ルールは、システム全体に対して管理者が設定します。ユーザはルールを設定できません。

■ 第1段階 ブロックルール

→ 宛先、差出人による問題メールのブロック

- ◆ 条件に一致したメールを配送するかブロックするかを指定できます。ブロックルールに一致したメールは、送信またはリターンされます。
- ◆ 送信を許可する宛先（ToとCc）の合計数の上限の設定も行えます。上限を超えたメールはブロックされ、送信できません。
- 例えば・・・送信先合計が25以上の場合にはブロックする／社内間メールはすべて配信、社外宛のみ他のルールによるチェックを行う／特定の人は、社外にメールを送信できず、特定の人のみが送信できるなどのルール設定が可能です。

■ 第2段階 本文・添付ファイル 暗号化ルール

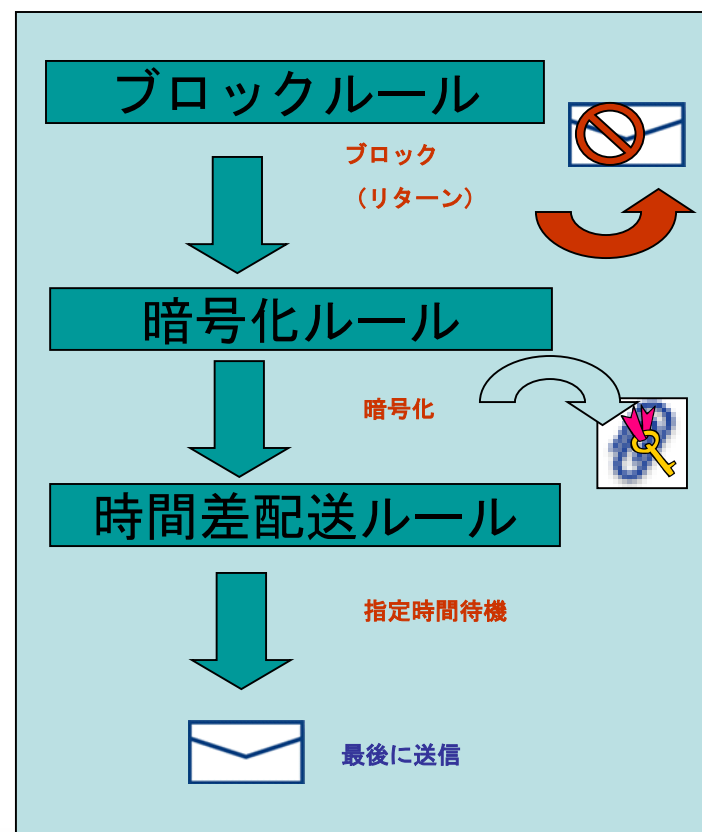
→ メール本文・添付ファイルからの漏えい抑止

- ◆ 条件に一致したメールについて、メール本文・添付ファイルを暗号化処理してから、送信します。
- 例えば・・・添付ファイルをうっかり誤送信をしても、添付ファイルを開くパスワードを送信しないことで、回避することができます。

■ 第3段階 時間差配送ルール

→ 配送待機&配送中止

- ◆ 送信先毎にメールの、時間差配送／即時配送を指定できます。
- 例えば・・・ある客先には、社内メンバーに即時送信でCCを入れると設定しておけば、もし添付ファイルをうっかり誤送信をしても、CCされた社内の第三者が間違いに気づくことができます。客先に添付ファイルが渡る前にストップできます。



添付ファイルからの情報漏えい防止

「本文・添付ファイル暗号化機能」

■ 「本文・添付ファイル暗号化機能」とは

- ◆ メール本文・添付ファイルを自動的にZIP暗号化して送信。
- ◆ ZIP暗号化強度（AES-128,256）の指定が可能。

※ AES暗号を使用した場合、復号には受信者側に復号用のソフトウェアが必要です。

◆ 復号に必要なパスワードの通知方法（3つから選択）

- 一定時間経過後、自動的にパスワード通知メールを送信。
- 送信者宛に保留／暗号化通知メールが送られるので、内容確認後、宛先にパスワード通知メールを送信。
- 電話、FAXなどで知らせる。

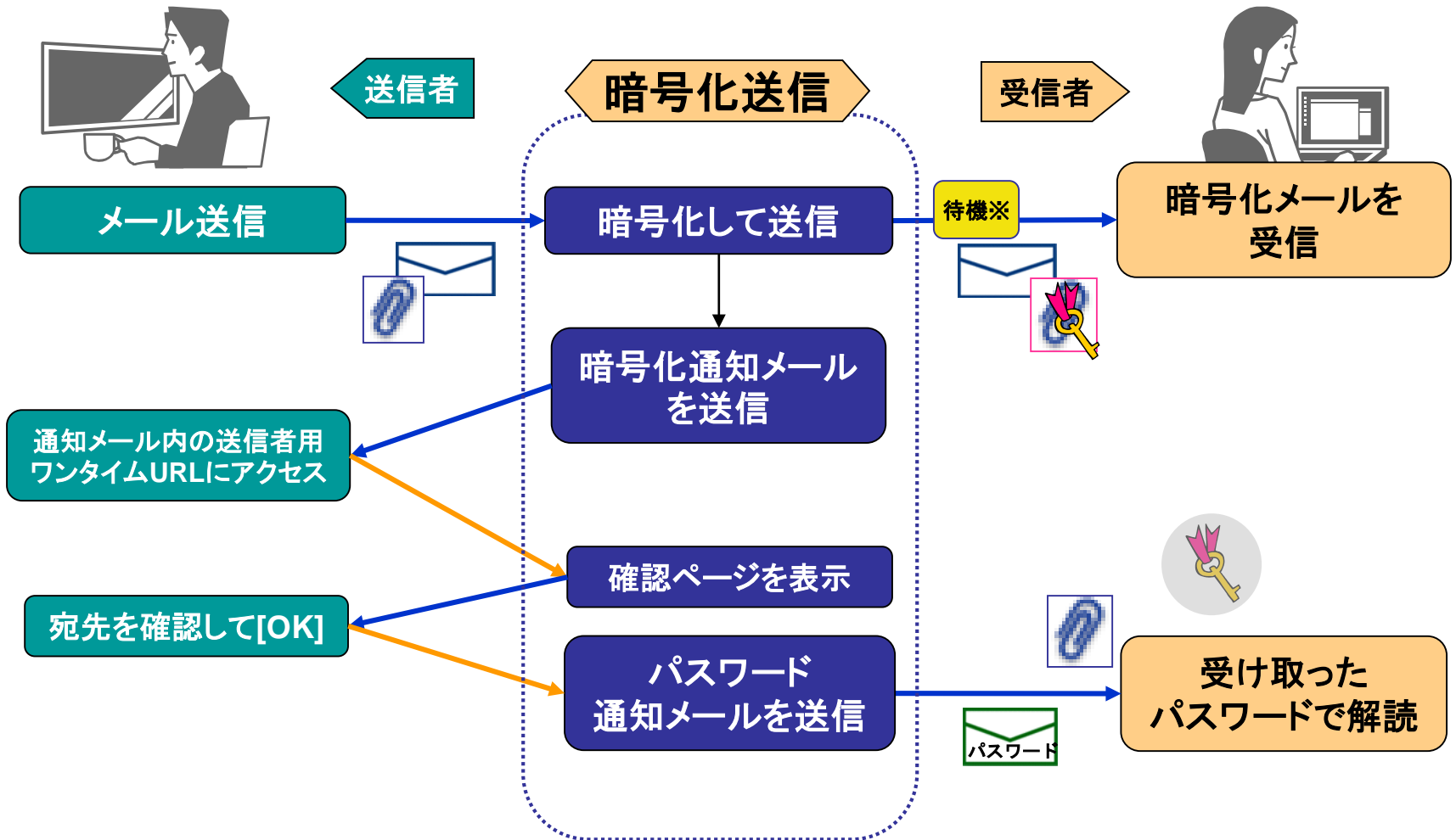
■ 「うっかり誤送信」をストップするには

もし添付ファイルを誤って送信してしまった後でも・・・

- ◆ 添付ファイルの復号パスワードの送信をキャンセルすることで、添付ファイルが復号されることを止められます。

メールの流れ<ZIPエディション>

※メール送信者がWebで確認後、パスワード通知メールを送信する場合



待機※

時間差配送機能を使用している場合は、ここで待機が発生します（後述）。

「うっかり誤送信」をメール送信直後にストップ 「時間差配送機能」

■ メールの「時間差配送機能」とは

- ◆ 管理者が設定した任意の条件に一致したメールの配送を一定時間、待機します。
- ◆ 待機時間が経過後は、「自動的に配送 or 破棄する」どちらかの選択が可能です。

■ 「うっかり誤送信」をストップするには

もしメールを誤って送信してしまった後でも・・・

→ メール送信者が自分で発見

- ◆ 送信ボタンを押した後、すぐに「しまった」と気付くことの多い誤送信。こんな時には、自分で送信者専用の画面から待機中メールの配送を中止することができます。

→ 社内の方が誤送信を発見

- ◆ 一斉配信するメールには「**社内宛先**には即時配送」かつ「**社外宛先**に時間差（待機あり）配送」と設定することで、メール送信者本人が誤送信に気付かなくても、メールを見た社内の第三者が誤送信を発見、送信者にメールをストップするように伝えることができます。

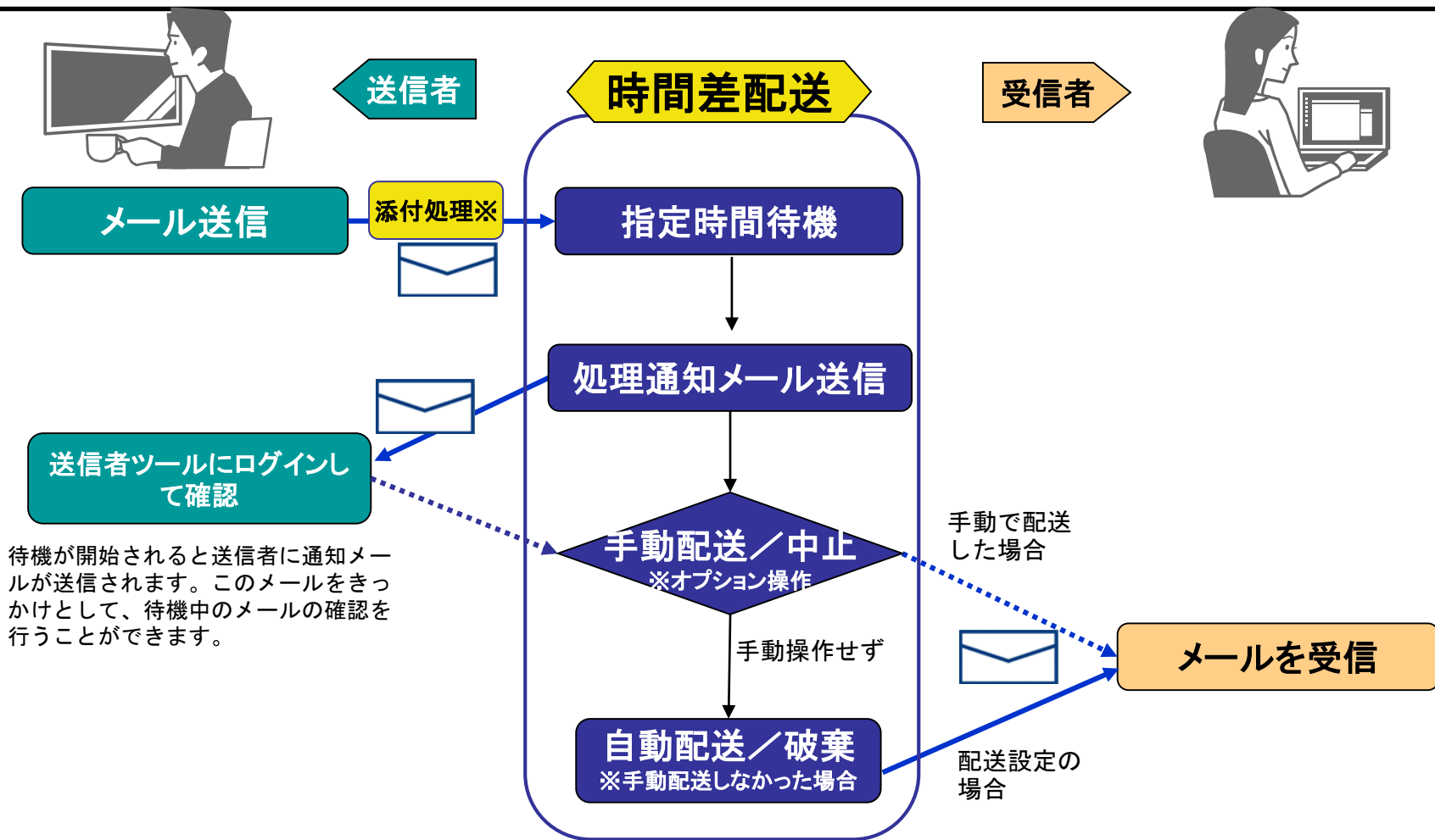
■ 「うっかり誤送信」を未然に予防するには

→ 宛先確認なしではメールを送信しない

- ◆ 待機時間が過ぎた後の処理として、「配送」か「破棄」を選択できるので、“自動破棄”に設定しておくことで、「送信者は必ず宛先を確認し、確認しない場合にはメールを送信しない」というポリシーを徹底させることができます。

メールの流れ<時間差配送>

※時間差配送で配送を行った場合に通知する設定の場合



待機が開始されると送信者に通知メールが送信されます。このメールをきっかけとして、待機中のメールの確認を行うことができます。

添付処理※

添付ファイルの暗号化機能を使用している場合は、ここで処理を行います。

END

資料をダウンロードいただき
ありがとうございました。

製品について
より詳しい説明をご希望の場合は
どうぞお気軽にお問い合わせください。

～お問い合わせは弊社サイトから～
<https://www.air.co.jp/>

<お問い合わせ先>

株式会社エアー

URL : <https://www.air.co.jp/>

TEL : 03-3587-9221 (代表)